

技術者一覧（河川）

頁	発注事務所名	部門	分野	工事・業務名	受注業者名	技術者氏名
9	沼津河川国道事務所	河川	その他	令和3年度 沼津河川国道電気通信施設保守業務	朝日電気工業 株式会社	花野 泰一
10	沼津河川国道事務所	河川	土木	令和3年度 富士海岸整備工事	株式会社 石井組	藤川 凌志
11	沼津河川国道事務所	河川	土木	令和3年度 狩野川水系流木整備工事	小野建設 株式会社	尾鷲 建弥
12	沼津河川国道事務所	河川	土木	令和3年度 狩野川水系上白岩地区砂防堰堤工事	加和太建設 株式会社	大村 真一郎
13	沼津河川国道事務所	河川	土木	令和3年度 狩野川水系上白岩地区砂防堰堤工事	加和太建設 株式会社	日高 稜也
14	沼津河川国道事務所	河川	機械	令和3年度 沼津河川国道管内機械設備設計業務	株式会社 東京建設コンサルタント	市川 真
15	沼津河川国道事務所	河川	調査	令和3年度 狩野川堤防地質調査業務	株式会社 東日	川里 なえ
16	沼津河川国道事務所	河川	その他	令和3年度 沼津河川国道事務所危機管理検討業務	日本工営 株式会社	加藤 真由
17	沼津河川国道事務所	河川	その他	令和3年度 狩野川河川管理施設等監理検討業務	日本工営・玉野総合コンサルタント設計共同体	守屋 博貴
18	沼津河川国道事務所	河川	その他	平成31年度 狩野川河川巡視支援業務	一般社団法人 パブリックサービス	岩堀 祥明
19	沼津河川国道事務所	河川	その他	令和2年度 柿田川自然再生事業検討業務	リバーフロント研究所・エコ共同企業体	井上 綾佳
20	沼津河川国道事務所	河川	土木	令和元年度 富士海岸沼川新放水路建設工事	若築建設 株式会社	白江 怜史

【電気通信】

令和3年度 沼津河川国道電気通信施設保守業務

発注者:沼津河川国道事務所 受注者:朝日電気工業株式会社



花野 泰一
2020年入社(3年目)

＜工事(業務)の目的及び概要＞

この業務は、沼津河川国道事務所の防災施設である電気施設、通信施設、システム施設の保守及び修理を行い、迅速な障害把握、障害復旧に対応するものです。

入社後、半年ほど電気通信施設の監視業務に従事し、現在は主に通信施設とシステム施設の保守に携わっています。



衛星通信設備の作業状況



通信鉄塔の作業状況

・現場での私の役割

現場では、雨量・水位などを自動観測するテレメータ装置や、衛星回線を使用して通信する衛星通信設備などの保守を行っています。

・建設業を選んだ理由

私は、災害から人々の生活を守るお手伝いができる仕事内容に興味を持ち、防災関係で社会貢献ができて、やりがいを感じられると思い、この仕事を選びました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

学生時代は文系で、前職も建設業とは関係ない仕事だったので、専門知識のないゼロからのスタートでしたが、上司や先輩方に助けられながら経験を重ねる中でスキルアップを目指しています。

やりがいの持てる業界なので、興味がある方は是非挑戦してください。

【土木】令和3年度 富士海岸整備工事



発注者: 沼津河川国道事務所 受注者: 株式会社石井組



藤川 凌志
2019年入社

入社後舗装工事や管更生工事を経て、今回令和3年度富士海岸整備工事の代理人を務めさせていただくことになりました。



※陸上養浜施工箇所全景

＜工事(業務)の目的及び概要＞

本工事は富士海岸の浸食を防止するため、養浜材を投入する、海上養浜、陸上養浜の他、傷んだ堤防を補強する工事を行っています。



※海上養浜 養浜材投入状況

・現場での私の役割

関係機関との打ち合わせや地域の方への周知、協力業者の方達と打ち合わせを行い施工をする為の段取りを行います。

・建設業を選んだ理由

高校、大学と土木について学び、大きな構造物や道路など街の景観を作る仕事がしたいと思いこの仕事を選びました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

最初は大変なことが多いと思いますが、その分構造物が出来上がった際の達成感はとても大きいです。一緒に頑張りましょう。

【土木】令和3年度狩野川水系流木整備工事

発注者: 沼津河川国道事務所

受注者:  小野建設株式会社



尾鷲 建弥
2019年入社

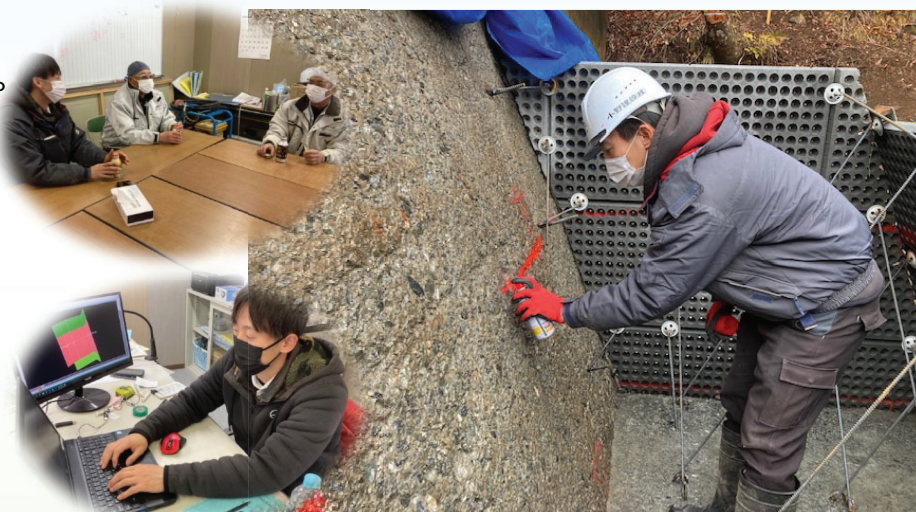


工事名	令和3年度 狩野川水系
工事種	土木整備工事
撮影点	左岸側
撮影内容	鋼製堰堤工(城川) 鋼製堰堤本体工 組立状況

<工事概要>

本工事では、狩野川水系の流木整備の為、鋼製スリットを設置する工事となっています。

入社して3年目になります。
1年目は林野庁発注の
林道新設工事、
2年目では国土交通省発注
の河川工事に従事し、
今年度から
「狩野川水系流木整備工事」
に配属となっています。



・現場での私の役割

現場では主に、安全管理・品質管理・出来形管理・写真管理、測量、コンクリート等材料の発注、協力業者との打ち合わせなど様々な業務を行っています。その中でも整理整頓され安全な現場であることを意識し、スムーズに作業できるよう現場環境を整え、事故なく施工できることが一番重要な役割だと思います。

・建設業を選んだ理由

父親が建設業に携わっており、幼いころから身近な業種でした。そのこともあり、しだいに自分もこの仕事をしていたいと思うようになり、専門学校卒業後に小野建設(株)に入社しました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

人々が安心安全に過ごせる環境作りに私たち技術者は必要不可欠です。実際に昨年度私が携わった河川の現場は、今年の台風で増水しましたが、氾濫することなく水害を抑えることができました。その時とても誇りに思える仕事だと感じることができました。友人や家族に誇れる仕事だと思います。

【土木】 令和3年 狩野川水系上白岩地区砂防堰堤工事



発注者: 沼津河川国道事務所 受注者: 加和太建設株式会社



大村 真一朗
2021年入社(1年目)



<工事の目的及び概要>

本工事は伊豆市上白岩地区で、土石流対策の砂防堰堤を設置する工事です。

大学を卒業して入社後2ヶ月間研修を受け6月より病院の造成工事の現場に配属されました。その後8月より現在の上白岩砂防の現場に配属されました。

この上に垂直壁が出来上がります。



第1垂直壁均しコンクリートの出来形を写真に撮っています。

・現場での私の役割

現場では主に安全書類や状況写真の撮影を行っています。最近では進捗状況を見ながら下請けさんと話をして資材の注文や丁張を掛けています。

・建設業を選んだ理由

私が建設業を選んだ理由は自分が作ったものを地元に残していきたいと思ったからです。地元の為に働きたいと考えていて、せっかく地元に戻るなら自分の作ったものを後世まで残して次の世代の人にも知ってもらいたいと考えたからです。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

この仕事は、「きつい」「汚い」「危険」といった3Kの印象が強いです。ですが、それだけ作るものには大きな価値があると考えています。普段何気なく使っている道路や橋を作っているのも建設業の方々です。作るのは大変でも、その作ったものは数十年という長い間、人々の生活を支えています。みなさんもこの誇りある仕事を一緒にしてみませんか。

【土木】令和3年度 狩野川水系上白岩地区砂防堰堤工事

発注者:沼津河川国道事務所 受注者:加和太建設株式会社



日高 稔也
2018年入社

入社4年目です。
138号BPの下部工事や下水道工事に従事していました。
本工事では、担当技術者として、現場管理を行っています。



奥の沢第3砂防堰堤

この工事は伊豆市上白岩地区で、土石流対策の砂防堰堤を設置する工事です。

残存型枠組立状況

この中に
コンクリートを
流し込みます。



・現場での私の役割

現場では、測量や工事写真の撮影、出来形品質管理を行っています。
また、安全巡視員として現場内の安全管理に携わり、現場関係者が安心して作業できるような環境を整備しています。

・建設業を選んだ理由

私は、農業高校出身で、園芸について学んでいました。卒業後、東京の専門学校で、建設業について学び、生活に必要不可欠な土木工事に憧れました。
地元である静岡県東部で、仕事がしたいと考え、この地区で建設業をしています。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

建設業は、皆様の生活を守る仕事です。道路などのインフラ整備はもちろん、砂防堰堤のように地域住民を守るための施設も造っています。人の生活を守るこの仕事を私は、誇りに思っています。皆様も一緒に建設業で働いてみませんか。

【機械】令和3年度

沼津河川国道管内機械設備設計業務

発注者：沼津河川国道事務所 受注者：株式会社東京建設コンサルタント



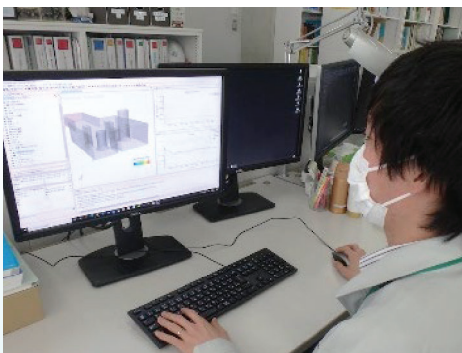
市川 真
2015年入社

入社時より主に排水機場の機械設備（ポンプ）の設計に従事しております。

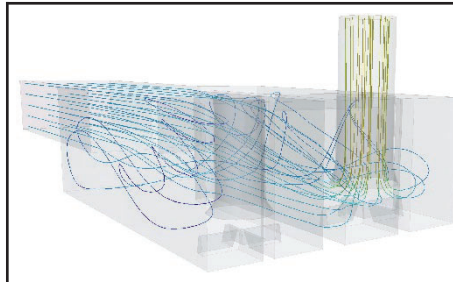


<業務の目的及び概要>

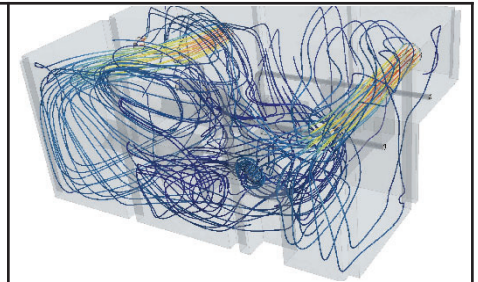
この業務は沼津河川国道事務所が管理している河川用機械設備の長寿命化を目的に設備の設計を実施しました。



作業の様子



吸水槽の流れ解析



機械室の換気解析

・業務での私の役割

本業務では、老朽化が進んでいる浪人川排水機場の改修にかかわる検討を担当しました。ポンプ構造・形式の見直しに伴い、吸水槽内に有害な流れが発生しないか解析により可視化しました。また、機械室の換気についても解析を実施し、最適な換気設備となるよう配慮しました。

・建設コンサルタントを選んだ理由

大学入学直前に震災があったことがきっかけで、防災にかかわる社会インフラを支える仕事がしたいと考えておりました。就活するまでこの業界のことは知りませんでしたが、防災を主としており、規模が大きい設備の設計に携わることができることにも魅力を感じました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

目立つ仕事ではありませんが、社会的使命が大きいところにとってもやりがいを感じております。今後、気候変動により激甚化する自然災害に対応するため、防災・減災のブレインである建設コンサルタントの役割はますます大きくなっていくと思います。

【調査】令和3年 狩野川堤防地質調査業務



発注者：沼津河川国道事務所 受注者：株式会社東日



川里 なえ
2019年入社

大学では地球科学・地質学を専攻していました。入社後、新設する道路や樋管、造成地・砂防ダムの土台となる地盤や地質の調査、また既存の構造物を維持・管理していく道路防災点検業務等に携わっています。



狩野川と調査地周辺

＜業務の目的及び概要＞

静岡県東部 沼津市を流れる狩野川に計画されている樋管（堤防内の水を河川に排水する管路）に関わる地質調査です。今後行われる樋管の詳細設計や、施工時に必要な土質状況を把握するための調査です。

ボーリング掘削→

採取試料の観察↓



・本調査での私の役割

既往資料の整理、現地踏査、ボーリング掘削作業による採取試料の観察を行い、業務の主な目的である土質状況の把握を行います。現場ではボーリング掘削作業の工程・安全管理や、土質試験等の試験類の提案・管理を担当しています。

・建設コンサルタント業を選んだ理由

大学で学んだ知識を生かせる仕事であり、かつ自分の携わった業務がその後どのように活用されていくのかに関心があったので、測量・調査・設計が社内で連携している総合建設コンサルタント業を選びました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

地質調査は地域環境・近隣への配慮、設計や工事にかかる期間や経済性等、様々な面を考慮する必要があります。そのため地質に関する知識だけでなく設計業務や施工等の知識も必要とするので大変なことも多いですが、社会に必要なインフラを支える仕事の一つとしてとても魅力を感じています。

【防災】令和3年度 沼津河川国道事務所危機管理検討業務

発注者：沼津河川国道事務所

受注者：日本工営株式会社



加藤 真由
2020年入社

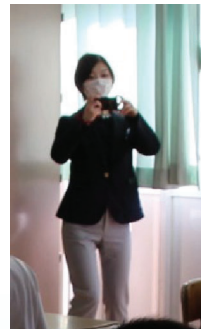


＜業務の目的及び概要＞

この業務は、災害時に沼津河川国道事務所の災害対応の基準となる危機管理計画の検討、狩野川流域における防災・河川環境教育に関する検討を目的とした業務です。

入社後、行政の防災訓練や地域住民等が参加する防災イベントの企画・運営等に従事してきました。

2021年4月から狩野川流域の小学校における防災教育の教材作成等に携わっています。



↑ 訓練や授業の記録の様子

↑ オンライン会議の様子

・私の役割

防災教育の授業を行う先生へのヒアリングや、ヒアリング結果を踏まえた授業構成・授業内容の検討、教材の作成、授業記録等を行っています。先生の要望や地域の特性を踏まえ、児童が災害を自分事として捉え、災害時にどのように行動したらいいのかを考え、学べるような授業になるよう心がけています。

・建設業を選んだ理由

高校生の頃、地元である東北で東日本大震災を経験し、災害から地域やひとを守る仕事に就きたいと強く思ったからです。災害対策にはハード対策とソフト対策がありますが、人と関わる仕事がしたいと考え、ソフト対策に特化した部署を持つ日本工営に入社しました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

私の仕事は、災害時に駆けつけて人を助けるヒーローになれる仕事ではありませんが、災害によって悲しむ人を一人でも減らすことにつながる仕事だと思っています。土木は、よく3K（きつい、汚い、危険）と言われ、女性にとっては少々とっつきにくいかもしれませんが、しかし、業界も変わりつつあり、働いていてそのように感じたことはなく、男女問わず活躍できる業界だと思います。ぜひ一緒に働いてみませんか？

【管理】令和3年度 狩野川河川管理施設等監理検討業務

発注者：沼津河川国道事務所

受注者：日本工営・玉野総合コンサルタント設計共同体



守屋 博貴
2018年入社

入社から、主に河川の維持管理に関する業務に携わっています。

現在は、構造物だけでなく、「常に変化する“河道”をどう管理し、河川の氾濫など洪水による被害をいかに未然に防ぐか」という大きな問題に対し、日々立ち回っています。

＜業務の目的及び概要＞

この業務は狩野川・黄瀬川等の河川管理施設の維持監理を行うとともに、出水が生じた際には出水状況の把握を行い、その後の対策を検討する業務です。

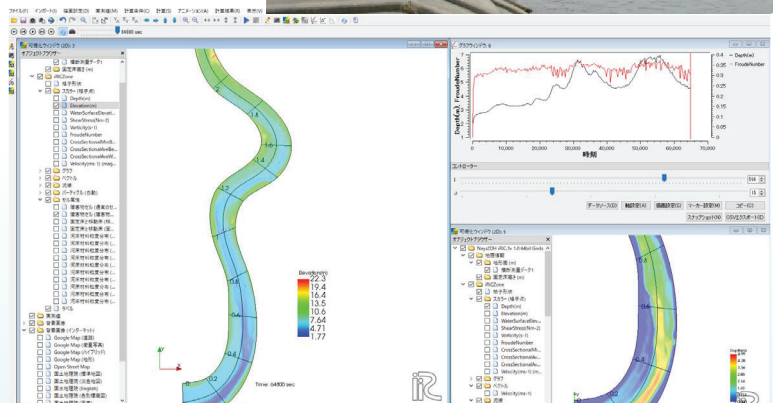


R3.7出水による被災状況。被災状況、被災規模等を現地で確認



道路・橋梁への影響も考慮し、道路管理者と連携した管理を実施。

現地での被災状況の確認



数値シミュレーションを用いた被災原因の解明

・業務での私の役割

多岐にわたる河川管理業務において、現地の状況確認から机上の検討、報告など様々な内容にプロジェクトチームの仲間とともにチャレンジし、技術を研鑽しつつ、DX推進により社会に貢献できるよう励んでいます。

・建設コンサルタントを選んだ理由

私は、幼少期から川の近くで生まれ育ち、通常時の自然豊かな河川の表情だけでなく、出水時の恐ろしさを感じてきました。洪水被害を未然に防ぎ、より安全な社会づくりに貢献するため、建設コンサルタントの道へ進みました。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

私たちが導き出した解決策を基に、人々がより安全に安心して暮らすことができる社会が作られていきます。自分の考えが形になり、現場に反映されたときの達成感は格別です。日本の河川の安全を共に守りましょう！

【管理】平成31年度 狩野川河川巡視支援業務



発注者:沼津河川国道事務所 受注者:(一社)パブリックサービス



岩堀 祥明
(2018年入社)

大学を卒業し、入社して4年目になります。主に河川巡視業務、積算技術業務、資料作成業務を経験しました。

＜業務概要＞

本業務は、狩野川水系のうち沼津河川国道事務所が所管する河川区域について、災害発生の防止、河川環境の整備と保全を図るため、所管区域を巡視することで、河川管理業務の支援を行うことを目的としています。



樋管の状態確認



クラック(ひび割れ)の計測



本業務巡視区域の一部【狩野川放水路(中央開水路)】



漏水の状況確認



堤防法面の変状確認【寺勾配化】



巡視区域空撮の補助

現場での私の役割

所管区域を回り、樋管などの構造物や堤防の変状を点検しています。巡視では、先輩職員とコミュニケーションを図りながら、円滑に業務を遂行出来るよう心掛けています。点検箇所の着眼点を早く身に付けられるよう日々勉強中です。

この業界を選んだ理由

この業界は施工や設計に直接関わる仕事ではなく、公共事業の橋渡し役を担う仕事です。地図に残るような仕事ではありませんが、公共事業には欠かせない存在であることを知り、この世界に足を踏み入れました。

未来をつくる若手技術者の皆様へ

昨今、土木業界でもDX(デジタル・トランスフォーメーション)が推進され、今まで土木とは無縁であった分野の技術が導入され活用されています。土木を学んだ方はもちろんのこと、そうでない方も活躍できる環境が整っていると思います。

【環境】令和2年度 柿田川自然再生事業検討業務

発注者：沼津河川国道事務所

受注者：リバーフロント研究所・エコ共同企業体（株）エコ



井上 綾佳
2020年入社

（株）エコに入社2年目で、自然再生や維持管理等の業務に携わり調査・検討を行ってきました。

本業務には、1年目より携わっており、現地調査や調査結果の分析等を行っています。

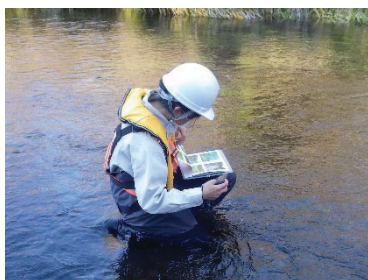
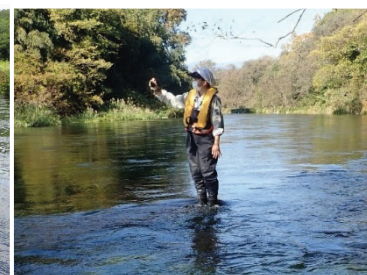
▶ 業務の目的・概要

柿田川で実施した河道整備や、自然再生等事業等に対して、モニタリングによる効果検証を実施し、その結果に応じた対応策を検討する業務です。

柿田川（6月）



アオハダトンボ調査風景



水生植物調査風景



ミシマバイカモ

▶ 業務での私の役割

富士山麓の雨水等を起源とする湧水河川である柿田川において、ミシマバイカモやアオハダトンボ等の希少な生物の分布状況等について調査し、調査結果から生育条件や増加・減少要因の検討を行っています。また、地元の市民団体との協働調査や外来種駆除活動に参加する等、柿田川は地域の多くの方々と関わりのある河川であるため、円滑なコミュニケーションを意識して業務を行っています。

▶ 建設コンサルタント業を選んだ理由

学生時代に、川幅を拡幅する際にコンクリート護岸を撤去して自然河岸に再生した河川において、外来種の防除を目的に外来植物の侵入と地形等の物理条件との関係について研究しました。研究を通じて、河川改修により生物多様性を向上させることの難しさや必要性を実感しました。卒業後は、多自然川づくりやグリーンインフラ等、治水と自然環境を両立させる河川管理について、計画から調査・検討まで携わりたいという考えに至り、建設コンサルタント業を選びました。

▶ 未来をつくる若手技術者の皆様へ

建設コンサルタント業は、検討成果が地域の安全や生活多様性等の生活基盤に直結するということが、私の働く大きなモチベーションとなっています。また、現場で多くの人と出会い、地域の歴史や文化、生物を知ることができる、働き甲斐のある仕事です。

【土木】令和元年度 富士海岸沼川新放水路建設工事

発注者:沼津河川国道事務所 受注者:若築建設株式会社



白江 怜史
2011年入社

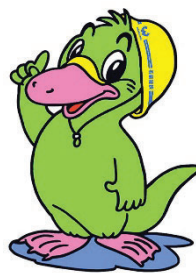
北は新潟,南は三重まで、東海,北陸地方で仕事をしています。陸上と海上工事(海岸や岸壁など)を経験し、2020年2月から監理技術者としてこの工事に従事しています。

若き感性 築いた伝統
WAKACHIKU 若築建設



<工事(業務)の目的及び概要>

この工事は静岡県沼津市の高橋川と沼川の洪水を駿河湾へ直接放流する「沼川新放水路(仮称)」の最下流部(海岸部)において、放水路本体(函渠)をつくる工事です。



現場で図面と格闘中

・現場での私の役割

現場では施工計画作成、安全,品質,工程管理など工事を進めるうえで必要な全てに携わっています。特に今回の工事は規模が大きいため現状と図面の照査,問題解決への協議,発注者との打合せから工程調整など、工事完成へ向けて現場を指揮しています。

・建設業を選んだ理由

建設業のスケールの大きさに衝撃を受け、学生時代のスクーバダイビング活動からくる海への憧れ、この二つを織り交ぜた結果、海上土木工事への道を選びました。直感で選んで正解だったと思っています。

・未来をつくる若手技術者の皆様へ

この仕事は、自然を感じながら大きな仕事ができる、素晴らしい業界だと思います。また業界全体がICT,IoT技術などもどんどん取り入れていますので、昔の建設業とは大きく変わってきています。次の未来を創る気持ちがあればOK!